

環境に配慮した物流

製品の国内外輸送を担当する物流部門では、①輸送工程のCO₂排出量低減 ②梱包・包装材使用量の低減活動を継続して実施しています。また、改正省エネルギー法により管理対象の範囲が拡大したことに伴い、目標値及び活動の範囲の見直しを行いました。

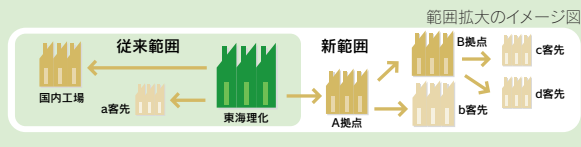
中長期目標



※06年度から、管理対象範囲拡大に伴い、目標値の再設定を行いました。

管理対象範囲の拡大

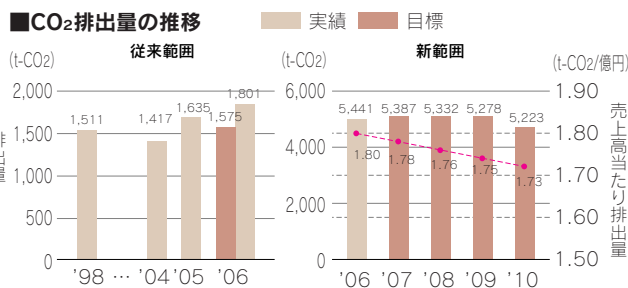
06年度より、省エネルギー法の改正に伴い、管理範囲を「所有権を有する貨物」まで拡大し、物流に関連する環境活動を一層強化しています。



国内CO₂排出量低減活動

06年度は納入先へのルート集約化、燃費効率の良い新型車両への切り替え等の改善活動により、売上高当たりの排出量(売上高原単位)は改善しました。しかし、生産増に伴う輸送量の増加により、総量では前年に対して増加となりました。07年度はデジタコ*装着によるエコドライブの徹底、モーダルシフト*への切り替え検討を進め、低減活動を強化していきます。

※デジタコ 運行速度や時間等をデジタルデータとして、自動的に記録する装置。
※モーダルシフト トラックによる幹線貨物輸送を、海運や鉄道に転換すること。



活動事例

輸送拠点の統合・ルートの集約化

関東方面の客先納入について拠点を統合し、ルートの集約化に取り組みました。分散していた荷量を集約化し便数を低減することで、燃料使用量を低減しました。

改善前



改善後



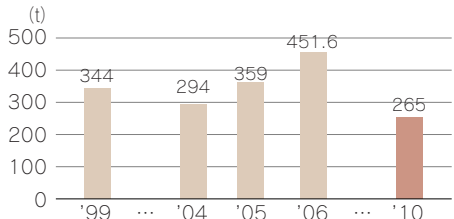
拠点
約50%減

CO₂低減
効果
78t-CO₂/年

梱包・包装資材使用量 低減活動

リサイクル化、リターナブル容器化に取り組みましたが、売上増に伴い目標未達になりました。07年度からは、包装材についても管理範囲の拡大を検討し、目標達成に向けた活動に取り組みます。

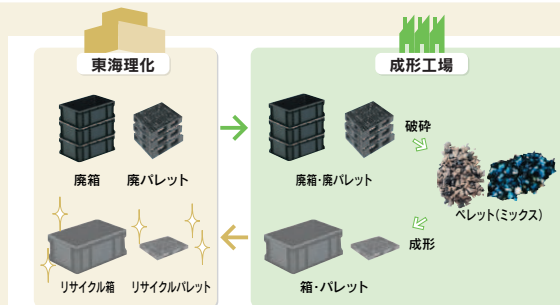
梱包・包装資材使用量



活動事例

廃容器をリサイクル材として再利用

不要になった容器を新規容器に再利用し、廃棄物量を低減しています。06年度は、十数年利用した容器の切り替え時期に当たり、約23tを再利用しました。



リサイクル量
23t/年